

首位決戦は引き分け、北國がシーズン1位に大きく前進

~第34回 日本ハンドボールリーグ・第20週~

第34回日本ハンドボールリーグ第20週は石川などで女子3試合が行われ、注目の首位決戦・北國銀行-オムロンは引き分けとなり、同勝点ながら対戦間得失点差でオムロンを上回る北國がレギュラーシーズン1位に大きく前進した。

北國-オムロン戦は開始早々、藤井のミドルシュートでオムロンが先制、北國も直後に横嶋の速攻で追いつき、白熱の攻防がスタートした。その後、北國が横嶋の連続速攻、上町の7mスローで着実に加点したのに対し、オムロンも北國のアグレッシブなディフェンスに対して洪、東濱の高さを活かした攻撃で応戦。前半序盤は両チームの持ち味が発揮され、また北國・田代、オムロン・藤間と両GKの好守もあって一進一退の攻防が続いた。20分過ぎから両チームに退場者が出来、双方にパワープレーチャンスが訪れたが、上町の7mスローと八十島のサイドシュートで連取した北國が、地元の応援をバックに果敢に攻め12-10と2点リードで折り返した。

後半に入っても北國のスピードは衰えず、エース上町を中心に加点。一方のオムロンも東濱の3連続得点などで必死に反撃するものの、ディフェンスでラフプレーが続き、退場者を出す苦しい展開となる。北國は15分過ぎから上町の7mスロー、中村のサイドシュートなどでペースを上げ、GK田代の好守もあって19分20-16と優位に立った。終盤も両チームの気迫あふれる攻防にスタンンドが沸き、27分24-21と先行した北國がこのまま逃げ切るかに見えたが、オムロンも最後に底力を発揮、ラスト1秒で藤井の速攻からのミドルシュートが決まり、白熱の試合は24-24の引き分けに終わった。なお、この試合でオムロン・東濱が通算300得点をマークした。

ソニーセミコンダクタ九州-三重バイオレットアイリス戦は、前半3分過ぎから三重が相手のミスを速攻につなげて6点を連取。その後も三重はソニーの焦りにつけ込み、橋本の切れのあるミドルシュートやGK毛利のキーピングが冴えて優位をキープした。ソニーは郭のパワフルなロングシュートで追撃したが、前半15-13と三重2点リードで終了。後半に入るとソニーが反撃。開始早々、三重の退場に乘じて同点に追いついたソニーは、その後も三重ディフェンスの足が止まったところを見逃さず、東の7mスローや郭の強打などで10分22-18と混戦を抜け出した。三重は伊藤のロングシュートで2点差まで迫る粘りを見せたが、ソニーのスピードある攻撃についていけず、結局31-25でソニーが勝利を収めた。広島メイプルレッズ-HC名古屋戦は、前半中盤から名古屋が広島の高いディフェンスに手こずり、その隙に広島の速攻が立て続けに決まり、12分12-4と大きく水があいた。16-8と広島8点リードで折り返した後半も、名古屋は前半と同じようなミスから逆速攻での失点が目立ったのに対し、広島は地元の熱い声援を背に徐々に点差を広げ32-18の大差で地元最終戦を飾った。この結果、広島の4位、三重の5位が決まった。

次週はレギュラーシーズン最終となる女子3試合が行われ、全順位が確定する。名古屋と対戦する北國の絶対有利は動かず、プレーオフヘアドバンテージを得るシーズン1位の座をがっちり手中にしそう。三重、広島の挑戦を受けるオムロン、ソニーもプレーオフに向けて弾みをつける勝利を飾りたいところだ。



首位決戦で火花を散らした①北國銀行・
横嶋⑤オムロン・洪 (撮影・神田進)

第21週の日程

2月27日(土)	熊本	水俣市立総合体育館(肥薩おれんじ鉄道水俣駅車5分)	14:00~	(女)	オムロ	ン	×	三重バイオレットアイリス
	鹿児島	霧島市国分体育館(JR日豊本線国分駅徒歩20分)	14:00~	(女)	ソニーセミコンダクタ九州	×	広島メイプルレッズ	
2月28日(日)	愛知	プラザー工業体育館(地下鉄名城線堀田駅徒歩10分)	13:00~	(女)	H C	名古屋	×	北國銀行

◆ 2月20日(土) 女子 石川・金沢市総合体育館				◆ 2月20日(土) 女子 広島・東区スポーツセンター				◆ 2月20日(土) 女子 広島・東区スポーツセンター			
北國銀行	24 (12-10 11勝1分2敗)	24 (12-14 11勝1分2敗)	オムロン	ソニーセミコンダ クタ九州	31 (13-15 10勝0分4敗)	三重バ'イレッ トライス	16-8 4勝0分10敗)	広島メイプル レッズ	32 (16-10 5勝0分9敗)	H C名古屋	0勝0分14敗)
<0/2> K 寺 田	勝 田	K <0/1>	<1/2> K 中 島	浅 井 K <0/2>	横 井	K 堂 面	近 藤 K <0/1>	寺 田	0/ 1	池 田	0/ 1
0/ 0 鮎 場	城 内	3/ 7	11/20 郭 惠 静	3/ 5	桂	3/ 3 土 屋	佐 藤	0/ 3	0/ 1	高 橋 瑛	2/ 5
6/7 5/10 上 町	高 田	3/ 4	3/ 7 長 野	4/ 5	宮 下	3/ 6	1/ 3 河 田	大 前	1/ 6	鈴 木	1/ 6
1/ 4 宮 前	卷	1/ 3	1/ 5 田 中	0/ 0	谷 口	0/ 0 2/3	2/2 2/10 植 垣	菅 谷	2/ 2	外 本	2/ 3
0/ 0 佐 久 川	市 村	0/ 0	0/ 0 山 田	0/ 0	北 村	0/ 0	3/ 4 菅 野	上 野	2/ 3	高 橋 瑛	3/ 7
0/ 0 川 井	藤 井	3/ 9 4/4	1/1 0/ 0 儀 間	1/ 1 高 栖	橋 本	5/10	5/ 6 伊 藤	高 橋 瑠	3/ 7	家 城	K <0/1>
2/ 4 中 村	石 立	0/ 2	0/ 0 川 崎	0/ 0	毛 利	K <2/8>	5/ 6 五 月 女	秋 山 美	5/ 6	秋 山 美	5/ 6
4/ 6 横 嶋	久 野	0/ 0	3/ 4 黒 木	3/ 4	星 野	2/ 4	2/ 2 安 齋	比 嘉	1/ 1	比 嘉	1/ 1
1/ 1 野 路 良	洪 廷 吾	3/ 7	4/10 飯 田	小 川	伊 藤	6/12 0/1	0/ 0 石 山	山 内	0/ 0	山 内	0/ 0
<0/2> K 田 代	藤 間	K <1/6>	<1/2> K 飛 田	伊 島	崎	0/ 0	3/ 6 高 山	戸 塚	0/ 0	新 城	0/ 0
1/ 7 仲 宗 根	勝 連	0/ 1	7/9 0/ 1 東	0/ 0 張 素 姫			2/ 2 新 城				
0/ 0 井 上	吉 田 薫	0/ 1									
3/ 4 八 十 島	永 田	0/ 0									
1/ 4 若 松	東 濱	7/11									
6/7 18/40 14(FPP)11	20/45 4/4	審判 (黒木龍・黒木秀)	観客 1026人	8/10 23/48 4(FPP)5	23/42 2/4	審判 (高野・長澤)	観客 406人	2/2 30/49 2(FPP)5	18/37 0/0	審判 (野島・石原)	観客 472人

「男子ウインターキャンプ」開催

第14回アジア男子選手権の
プレイク期間を利用して「男
子ウインターキャンプ」が2
月19日から21日まで北陸電力
福井体育馆フレア（福井県）
が開催され、日本リーグ所属
チームと実業団チームが参加
して練習マッチを行った。と
くに若手選手に実戦経験を積
む機会を増やすことにより、
各チーム全体の底上げを狙っ
たのに加え、レフェリーの研
修も併せて実施することでそ
れぞれのレベルアップを図っ

た。

30分のゲームを次々とこな
した結果、7戦全勝の湧永製
薬をはじめ、大同特殊鋼らが
好成績を残した。

【参加チーム】

◇日本リーグチーム：大同特
殊鋼、大崎電気、湧永製薬、
トヨタ車体、北陸電力、豊田
合成◇実業団チーム：トヨタ
自動車

▽2月19日

大同特殊鋼18-10トヨタ自動車
トヨタ車体24-9豊田合成

トヨタ自動車15-9豊田合成
大同特殊鋼12-10トヨタ車体
湧永製薬15-8北陸電力
大崎電気18-12トヨタ自動車
▽2月20日

北陸電力15-9豊田合成
大同特殊鋼12-8大崎電気
大崎電気15-12豊田合成
大同特殊鋼12-6北陸電力
トヨタ車体15-13大崎電気

トヨタ自動車17-12北陸電力
豊田合成16-13大同特殊鋼
湧永製薬18-11豊田合成
大同特殊鋼18-12トヨタ車体

湧永製薬11-10トヨタ車体
湧永製薬17-15トヨタ自動車
トヨタ車体16-8北陸電力
トヨタ自動車15-14豊田合成
湧永製薬14-10大同特殊鋼
湧永製薬18-8大崎電気
トヨタ車体20-10トヨタ自動車
大崎電気19-10北陸電力
▽2月21日

大同特殊鋼14-14大崎電気
北陸電力17-11豊田合成
大同特殊鋼15-9北陸電力
湧永製薬9-7トヨタ車体
トヨタ車体15-12大崎電気



地域に根付いたチームに

こんにちは琉球コラソン14番池田順です。

日本リーグも残すところ3月6日のホーム戦一試合となりました。最終戦、日頃より支援してくださるファンの皆様、
スポンサーの皆様に素晴らしい試合が見せられるよう、チーム一同頑張っています。

さて現在、2月は試合が無く、コラソンでは小・中学生を対象としたスクールを行っております。

沖縄は2004年に日本で初めて浦添市が「ハンドボール王国宣言」をするほどハンドボールが盛んな県で、小学校から高校まで成績は全国でもトップクラス、毎年優勝候補にあげられるほどの高いレベルです。

そんな優秀な選手が多い沖縄から、日本リーグまたは世界で活躍できる選手育成の一助を担う存在であるよう、私たち

クラブは更なる充実を目指しています。

これからは支援してくださる皆様、スクールの子供達、ファンの皆さんに勝利はもちろん、記憶に残る“魅せるハンドボール”ができるよう取り組んでいきます。琉球コラソンにご注目下さい。



男女個人ランキング 第20週終了

《男子》

《女子》

得点王

1	末松 誠	(大同特殊鋼)	102 点	(13試合)	1	上町 史織	(北國銀行)	126 点	(14試合)
2	門山 哲也	(トヨタ車体)	83 点	(12試合)	2	郭 晃惠	(ソニ一)	99 点	(14試合)
3	今村 彰伸	(豊田合成)	76 点	(13試合)	3	植垣 晓恵	(メイプルレッズ)	94 点	(14試合)
4	村上 秀行	(トヨタ紡織九州)	75 点	(13試合)	4	藤井 紫緒	(オムロン)	87 点	(12試合)
5	東長濱秀作	(湧永製薬)	72 点	(12試合)	5	横嶋かおる	(北國銀行)	83 点	(14試合)
6	豊田 賢治	(大崎電気)	69 点	(13試合)	6	伊藤亜衣美	(バイオレットアイリス)	77 点	(14試合)
7	銘苅 淳	(トヨタ車体)	68 点	(13試合)	7	高橋 恵	(ソニ一)	66 点	(12試合)
8	武田 享	(大同特殊鋼)	65 点	(12試合)	8	高栖 由香	(ソニ一)	61 点	(14試合)
9	村山 裕次	(琉球コラソン)	65 点	(13試合)	9	高田 裕梨	(オムロン)	57 点	(14試合)
10	小澤 広太	(大崎電気)	63 点	(13試合)	10	洪 廷昊	(オムロン)	55 点	(14試合)
11	中畠 嘉之	(トヨタ紡織九州)	63 点	(14試合)	11	桂 裕美子	(バイオレットアイリス)	53 点	(14試合)
12	志慶真龍我	(琉球コラソン)	60 点	(13試合)	12	東濱 裕子	(オムロン)	49 点	(14試合)
13	吳 相民	(トヨタ紡織九州)	59 点	(14試合)	13	橋本 寛子	(バイオレットアイリス)	48 点	(14試合)
14	藤山 岳士	(トヨタ紡織九州)	59 点	(14試合)	14	若松 里佳	(北國銀行)	47 点	(14試合)
15	神田 友和	(北陸電力)	58 点	(14試合)	14	菅谷 美奈	(H C 名古屋)	47 点	(14試合)

フィールド得点

1	末松 誠	(大同特殊鋼)	92 点	(13試合)	1	郭 晃惠	(ソニ一)	99 点	(14試合)
2	門山 哲也	(トヨタ車体)	83 点	(12試合)	2	上町 史織	(北國銀行)	86 点	(14試合)
3	今村 彰伸	(豊田合成)	76 点	(13試合)	3	横嶋かおる	(北國銀行)	83 点	(14試合)
4	村上 秀行	(トヨタ紡織九州)	74 点	(13試合)	4	植垣 晓恵	(メイプルレッズ)	65 点	(14試合)
5	武田 享	(大同特殊鋼)	65 点	(12試合)	5	高栖 由香	(ソニ一)	61 点	(14試合)
6	小澤 広太	(大崎電気)	63 点	(13試合)	6	伊藤亜衣美	(バイオレットアイリス)	60 点	(14試合)
7	中畠 嘉之	(トヨタ紡織九州)	63 点	(14試合)	7	藤井 紫緒	(オムロン)	59 点	(12試合)
8	志慶真龍我	(琉球コラソン)	59 点	(13試合)	8	高田 裕梨	(オムロン)	57 点	(14試合)
9	吳 相民	(トヨタ紡織九州)	59 点	(14試合)	9	洪 廷昊	(オムロン)	55 点	(14試合)
10	神田 友和	(北陸電力)	58 点	(14試合)	10	桂 裕美子	(バイオレットアイリス)	53 点	(14試合)

シュート率 (フィールド得点ベスト10を対象)

1	末松 誠	(大同特殊鋼)	92点/130射	0.708	1	高栖 由香	(ソニ一)	61点/ 71射	0.859
2	村上 秀行	(トヨタ紡織九州)	74点/115射	0.643	2	横嶋かおる	(北國銀行)	83点/ 105射	0.790
3	小澤 広太	(大崎電気)	63点/ 98射	0.643	3	桂 裕美子	(バイオレットアイリス)	53点/ 87射	0.609
4	志慶真龍我	(琉球コラソン)	59点/100射	0.590	4	高田 裕梨	(オムロン)	57点/ 96射	0.594
5	門山 哲也	(トヨタ車体)	83点/141射	0.589	5	洪 廷昊	(オムロン)	55点/ 94射	0.585

7mスロー得点

1	藤山 岳士	(トヨタ紡織九州)	27 点	(14試合)	1	上町 史織	(北國銀行)	40 点	(14試合)
2	銘苅 淳	(トヨタ車体)	26 点	(13試合)	2	植垣 晓恵	(メイプルレッズ)	29 点	(14試合)
3	村山 裕次	(琉球コラソン)	21 点	(13試合)	3	藤井 紫緒	(オムロン)	28 点	(12試合)
4	東長濱秀作	(湧永製薬)	19 点	(12試合)	4	菅谷 美奈	(H C 名古屋)	17 点	(14試合)
5	豊田 賢治	(大崎電気)	14 点	(13試合)	4	伊藤亜衣美	(バイオレットアイリス)	17 点	(14試合)
					4	東 サヤカ	(ソニ一)	17 点	(13試合)

7mスロー阻止率 (7mスローを受けた数が、チームの試合数以上のGKが対象)

1	坪根 敏宏	(トヨタ車体)	9本/ 17射	0.529	1	家城 千香	(H C 名古屋)	16本/ 33射	0.485
2	田平龍太郎	(トヨタ車体)	6本/ 14射	0.429	2	勝田 祥子	(オムロン)	7本/ 16射	0.438
3	松野 雅崇	(トヨタ紡織九州)	10本/ 26射	0.385	3	堂面 妙子	(メイプルレッズ)	7本/ 21射	0.333
4	東 佑三	(大崎電気)	6本/ 16射	0.375	4	中島 亜樹	(ソニ一)	4本/ 14射	0.286
5	藤田 東吾	(豊田合成)	5本/ 16射	0.313	5	近藤 澄江	(H C 名古屋)	6本/ 22射	0.273

選手・役員登録情報

◇琉球コラソン

No.18 名嘉 真吾 1987.11.04 177cm 71kg 右 沢嶽小→神森中→興南高→東海大 ※出場可能日 : 2010.02.27

第34回日本ハンドボールリーグ成績表

第20週終了 2月20日

順位	男子	大同特殊鋼	トヨタ車体	トヨタ紡織九州	湧永製薬	大崎電気	豊田合成	琉球コラソン	北陸電力	試合数	勝数	引分数	敗数	勝点	総得点	総失点	差
1	大同特殊鋼		30 27 ○ △ 23 27	35 28 ○ ● 29 29	32 29 ○ ○ 26 25	24 ○ 19	48 40 ○ ○ 24 19	35 37 ○ ○ 24 19	36 40 ○ ○ 23 24	13	11	1	1	23	441	311	130
2	トヨタ車体	23 27 ● △ 30 27		27 31 ● ○ 28 30	32 33 ○ ○ 30 26	25 30 ● ○ 36 22	30 ○ 24	33 30 ○ ○ 23 27	28 30 ○ ○ 17 23	13	9	1	3	19	379	343	36
3	トヨタ紡織九州	29 29 ● ○ 35 28	28 30 ○ ● 27 31		23 31 △ ● 23 34	30 26 △ ● 30 28	40 37 ○ ○ 21 27	36 29 ○ ○ 28 24	30 32 ○ ○ 23 23	14	8	2	4	18	430	382	48
4	湧永製薬	26 25 ● ● 32 29	30 26 ● ● 32 33	23 34 △ ○ 23 31		28 27 ○ ○ 21 25	39 31 ○ ○ 23 20	37 ○ ○ 26	35 33 ○ ○ 17 16	13	8	1	4	17	394	328	66
5	大崎電気	19 ● 24	36 22 ○ ● 25 30	30 28 △ ○ 30 26	21 25 ● ● 28 27		43 30 ○ ○ 18 19	34 34 ○ ○ 27 27	28 24 ○ ○ 24 18	13	8	1	4	17	374	323	51
6	豊田合成	24 19 ● ● 48 40	24 ● ● 30	21 27 ● ● 40 37	23 20 ● ● 39 31	18 19 ● ● 43 30		22 33 △ ○ 22 29	22 24 △ ○ 22 17	13	2	2	9	6	296	428	-132
7	琉球コラソン	24 19 ● ● 35 37	23 27 ● ● 33 30	28 24 ● ● 36 29	26 ● ● 37	27 27 ● ● 34 34	22 29 △ ● 22 33		33 27 ○ ○ 29 18	13	2	1	10	5	336	407	-71
8	北陸電力	23 24 ● ● 36 40	17 23 ● ● 28 30	23 23 ● ● 30 32	17 16 ● ● 35 33	24 18 ● ● 28 24	22 17 △ ● 22 24	29 18 ● ● 33 27		14	0	1	13	1	294	422	-128

順位	女子	北國銀行	オムロン	ソニーセミコンダクタ九州	広島メイプルレッズ	三重バイオレットアイリス	HC名古屋	試合数	勝数	引分数	敗数	勝点	総得点	総失点	差
1	北國銀行		30 19 24 ○ ● △ 25 21 24	33 23 31 ○ ● ○ 27 31 24	34 31 26 ○ ○ ○ 28 22 23	29 30 22 ○ ○ ○ 21 18 14	37 31 ○ ○ 16 15	14	11	1	2	23	400	309	91
2	オムロン	25 21 24 ● ○ △ 30 19 24		27 36 24 ● ○ ○ 28 21 22	33 36 34 ○ ○ ○ 17 15 21	23 28 ○ ○ ○ 16 19	40 37 33 ○ ○ ○ 11 14 12	14	11	1	2	23	421	269	152
3	ソニーセミコンダクタ九州	27 31 24 ● ○ ● 33 23 31	28 21 22 ○ ● ● 27 36 24		45 39 ○ ○ 26 24	32 35 31 ○ ○ ○ 20 28 25	42 42 34 ○ ○ ○ 15 20 21	14	10	0	4	20	453	353	100
4	広島メイプルレッズ	28 22 23 ● ● ● 34 31 26	17 15 21 ● ● ● 33 36 34	26 24 ● ● 45 39		28 15 19 ○ ● ○ 27 21 16	36 33 32 ○ ○ ○ 20 13 18	14	5	0	9	10	339	393	-54
5	三重バイオレットアイリス	21 18 14 ● ● ● 29 30 22	16 19 ● ● 23 28	20 28 25 ● ● ● 32 35 31	27 21 16 ● ○ ● 28 15 19		30 31 27 ○ ○ ○ 15 16 13	14	4	0	10	8	313	336	-23
6	HC名古屋	16 15 ● ● 37 31	11 14 12 ● ● ● 40 37 33	15 20 21 ● ● ● 42 42 34	20 13 18 ● ● ● 36 33 32	15 16 13 ● ● ● 30 31 27		14	0	0	14	0	219	485	-266

※この星取り表は、シーズン途中は試合数に関係なく、仮の順位で並び替えてあります。

同勝点の場合は、1. 対戦間勝点 2. 対戦間得失点差 3. 総得失点差 4. 総得点 の多い順で順位付けしています。